

会社概要

社 名 萩原工業株式会社
設 立 1962年(昭和37年)11月29日
所 在 地 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地

沿革



1892年	萩原商店創業(現在の萩原(株))
1962年	い草花ごのタテ糸用ポリエチレン糸の製造を目的として水島工場を建設・操業
1962年	ポリエチレン糸の需要拡大のため、 萩原工業(株)を設立
1964年	フラットヤーンの開発、製造開始
1965年	フラットヤーン製造設備の輸出開始
1974年	世界初のブルーシート一貫製造体制を構築
1995年	インドネシアに子会社設立
1996年	紙用スリッター機械の開発上市
2000年	大証2部に株式上場
2001年	東証2部に株式上場



2002年	中国(青島)に子会社設立
2005年	中国(上海)に子会社設立
2014年	東証1部に株式上場
2018年	EPC Holdingsを子会社化 海外拠点9ヵ国増
2018年	日本でいちばん大切にしたい会社大賞 経済産業大臣賞受賞
2018年	東洋平成ポリマーを子会社化

事業拠点



事業紹介

合成樹脂製品

お花見や運動会、キャンプなど様々な用途で使用するシート。使用シーンに合わせて、色・厚み・機能などを調整し、様々な種類を展開しています。織り柄や色といった景観に溶け込む意匠性を持たせ、単なる敷物ではなく「楽しい憩いの場」など、機能だけではない新たな価値を提供しています。



ブルーシート



和みシート

エンジニアリング製品（スリッター）

シート状の長尺巻物を巻出し、任意の幅に切断、その切断された材料を再び巻取るロール加工機械。 ペットボトルフィルムから液晶フィルムまで、材質・用途に合わせてさまざまな「切る」を高いレベルで実現しています。



電気事業への取り組み

電池のセパレータをスリットし巻き取る機械の製造販売を行っております。

おかやま次世代電池共創コンソーシアム参加の理由

今後の電池生産設備の動向や、次世代電池の全生産工程を知りたいと考えております。

おかやま次世代電池共創コンソーシアムに期待することや要望

次世代電池の生産設備としてスリッターが活用できるのか、
または新たな産業機械の開発を進めていく一員として携われることを期待します。

その他（御社のPRなど）

私たちは、創業者の口癖だった「おもしれえ-直ぐやってみよう」をモットーに、新しい技術や最新の素材を開発し続け、合成樹脂製品、エンジニアリング製品ともに国内・国外にも広く使われるヒット製品を生み出してきました。これからも、萩原工業の中核技術「切る、伸ばす、巻く、織る」を中心に発展を遂げていく所存です。

最後になりましたが、この度はおかやま次世代電池共創コンソーシアムの活動に参画させて頂き、松村先生を始め、関係者の皆様には大変感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。